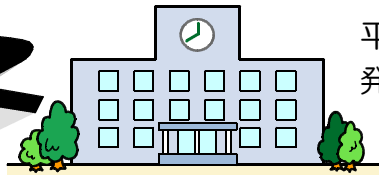


豊田っ子



小中一貫教育
研究テーマ

「自ら学び、進んで活動する豊田っ子の育成」
～小中の連続性を大切にし、自分の考えを伝える力を高める～

今年度も、昨年度までの研究を土台として、以下に示す「目指す児童生徒像」の達成に向け、小中学校が互いに協力しながら研究を進めていきます。

豊田地区小中一貫教育で「目指す児童生徒像」

- ①「自分の思いを伝えられる子」
- ②「お互いに協力できる子」
- ③「目標を持ち、最後までやり抜く子」

研究の様子はこの「豊田っ子」
を通じてお知らせします。
(年3回発行予定)



☆ 小学校運動会参加 (5 / 20)

中学生が出身小学校の運動会に参加し、小学生と一緒に綱引きをしたり、新編豊田音頭(北小)を踊ったりして、楽しいひとときを過ごしました。
9月には小学6年生が、中学校の運動会に参加する予定です。



☆ 第1回小中一貫教育研究会 (5 / 24)

豊田中学校の全部のクラスの授業を小学校の先生が参観しました。

＜参観した感想＞

- ・なんとなくわかったようにするのではなく、きちんと理解していくことが、わかる→できるにつながっていくと感じました。
- ・子どもたちが英語でやりとりしたり、教え合ったり楽しそうに取り組んでいる姿が印象的でした。



☆ 第2回小中一貫教育研究会 (6 / 14)



豊田北小での綱引き



真剣に学習する1年生



豊田南小6年英語授業

昨年度に引き続き、豊田南小で6年生の英語研究授業を行いました。小・中2人の英語担当教員がティームティーチングで実施しました。

＜授業研究会でのグループ協議から＞

- ・積極的にコミュニケーションをしていた。自信をもって表現しようとしていた。苦手な児童にも教え合うなど学びあいが見られた。
- ・TTの授業のT2を中学校の先生が行うことで、児童にとっての課題が明確になり、より理解を深めさせることができた。
- ・先生同士のデモンストレーションが、児童に活動を理解させるのに有効だった。また、活動を段階的に進めたので、児童は理解しやすかった。